

市政の窓



No.84

続投

私の基本方針の一つに「市民参加のまちづくり」があり、市民との協働による持続可能な市政運営を目指すための礎は市民と行政とのコミュニケーションだと考えており、この「市政の窓」のコラムも多少ではありますが一役買っているのではないかと自負するところもございます。

ありますが、月初めの発行後、素文にもかかわらず「今月も読んだよ」「楽しみにしているよ」「頑張っ」という市民からの声を頂くと、「市政の窓」も市民との距離を縮めているのかなと感じられます。

苦慮し恥を忍んで書く文章ですが、引き続きのご意見、ご感想、ご批判を頂戴しながら、さらに4年間投稿させていただくつもりでありますので、よろしくお願ひ申し上げます。

選挙の関係で休稿した間には、世界では冬・季オリンピックが韓国・平昌で開催され、男子フィギュアスケートの羽生選手、スピードスケート女子500mの小平選手、そしてスピードスケート女子団体パシユートの金メダルをはじめ、冬季オリンピック史上最多のメダル獲得という快挙がありました。

国内では風邪・インフルエンザに悩まされましたが、梅から桜へと移り変わる最高の季節を迎える時期になりました。春に向け匝瑳市も大いに羽ばたいていきたいと願うところであります。

匝瑳市長 太田安規

図書館だより



休館日…1日(木)、毎週月曜日

★トリックアートで不思議体験

八日市場図書館では18日(日)まで、トリックアートの関連図書を展示しています。不思議な世界をご覧ください。

また、目の錯覚を利用したトリックアート『エイムズの部屋』を作る工作会を開催します。

期日…3月17日(土) 時間…第1回は11時～12時、第2回は13時～14時 場所…八日市場図書館2階集会室 対象…4歳～小学校6年生 定員…各回20人(保護者同伴可。未就学児は保護者の同伴必須) ※参加無料。『くまくまパン』のぬりえコーナーを設置します。

★変更はありませんか

春は、新しい門出の季節です。図書館カードの登録内容(住所・氏名・電話番号など)に変更が生じた場合は、変更届の提出をしてください。

3年ごとの誕生日にカードの更新を行います。身分証明書により、住所などの確認をしますので、ご協力をお願いします(受け付けは17時まで)。

★3月のおはなし会

日時…毎週土曜日14時から30分程度 場所…八日市場図書館

☎八日市場図書館☎73-3746(17時まで)

文芸コーナー

短歌

市役所より米寿を祝う賞状を贈られふり返る八十のたつきを

飯倉台 多部田佐智子

愛らしき笑顔の叔母の遺影見つ頭をたれて感謝にひたる

八日市場イ 鈴木 和子

髪白くなりたる妻の漬け込みし白菜旨し母のごとしも

八日市場イ 椎名 昭雄

寄るべない叔母は無縁の墓に入る縁切るための告別なるか

春海 八角 宗林

日だまりに川を眺めて熱々の焼芋ほおぼる手も暖かき

八日市場ホ 高橋百合子

寒風に耐えて咲きおり春を待つ健気な姿の日本水仙

八日市場イ 古谷由美子

庭先のブルーベリーを手のひらにおい食べないか耳に残る声

荻野 川口 登喜

川口 城司 推薦

咲きさかる目算二百の野水仙花莖折れて積む雪の下

栢田 小川 知至

雪積るあしたの庭に鮮明のバイクのわだちにご苦労申す

野手 大木 政子

池端の鴨数十羽一列に羽根ふくらませ目を浴みてをり

野手 伊橋 良子

巡り来て商ふトマト葱大根バナナもありて楽しき木曜日

今泉 稲葉 雪子

俳句

杉谷の雪解を抜ける風の音

八日市場ハ 大川 宜子

八木 佐久司 推薦

道しるべ

飯倉新田を歩く

市内にも、江戸時代に道路脇や寺院、墓地などに立てられた数基の道標(道しるべ)が残されています。

飯倉新田区(豊栄地区)の集落を走る道路沿い、母子(横芝光町)の子安神社近くの共同墓地にある個人の墓所に道標があります。

この供養塔を兼ねた道標は高さ約130cmで、正面に地藏菩薩が浮き彫りされ「西とう金(東金) はにや(埴谷・山武市) 江戸道」、右側面に「かわ道 かやた(栢田・栄地区) はま道」とあり南方の高野、蕪里(須賀地区)への道が当時、「川道」



供養塔を兼ねた道標。個人の墓所もあり、四面に道案内が刻まれている

「浜道」と呼ばれていたことが知られます。左側面には「北 まつ山(松山) いいたか(飯高) 中村(多古町)」、裏面には「東 八日市ハ(八日市場) をみ川(小見川・香取市) てうし(銚子)道」とあります。造立された1776(安永5)年当時飯倉新田から四方に広がる道の方向が浜道、江戸道、銚子道などと人々が使っていた呼び名が刻まれていることも貴重です。

造立者は飯倉村の人で、墓塔の正面に刻まれた文字から1770(明和7)年12月12日に亡くなったとみられる親子と先祖代々の供養のため、

「浜道」と呼ばれていたことが知られます。左側面には「北 まつ山(松山) いいたか(飯高) 中村(多古町)」、裏面には「東 八日市ハ(八日市場) をみ川(小見川・香取市) てうし(銚子)道」とあります。造立された1776(安永5)年当時飯倉新田から四方に広がる道の方向が浜道、江戸道、銚子道などと人々が使っていた呼び名が刻まれていることも貴重です。

そして人の道案内によって功德が得られると考えて立てたのでしよう。

造立当初は道端にあったように、道路改修などの際に造立者の墓地に移されたのかも知れません。

この他、代表的な道標は県道45号(八日市場八街線)沿いの飯倉地先に1800(寛政12)年に立てられたものがあります。これは飯倉村台谷の若者講中が「郷中安穩」を祈願しまつた庚申塔で、その下部に東西南北の方向の地名が刻まれ、これにも江戸道、浜道とあります。

また、木積(豊栄地区)の龍頭寺境内に移されたと思われる1793(寛政5)年の道標には弘法大師像が浮き彫りされ、大師の命日・21日に立てられました。

同様に、大師像が浮き彫りされたものは椿区(椿海地区)仲新久にもあり、「馬持中」が願主となっていることから、当時荷馬車を使い運送を行っていた人たちが立てたのでしよう。

(市文化財審議会委員)

依知川雅二

関秘書課広報広聴班

☎73・0080

野を焼くや額に掛かる髪の毛
寒の明地を沁み透る雨の音
句友より励まし文赤い月
どっと燃ゆ野焼の炎ねじれつつ
春待つを八十路の扉開けて待つ
風の中畑の鶉は土返し
戦なきこの世に老いて鬼やらひ

内山 椿 和枝
八日市場イ 椎名 晴江
八日市場口 高安せい子
八日市場ハ 江波戸知巳
横須賀 岩井 やす
若潮町 最上 峻
八日市場イ 椎名 貴寿

川口 城司 推薦

咲く薔薇にいつも元気を貰いおり
跳ぶやうにさらは来、去りぬ寒中走
いさり船転舵低速春近し

今泉 野仲 妙子
栢田 石田 健
新堀 沖 舟二

川柳

鈴木 十世志 推薦

やりくりで夕べのおかず七変化
チラシ見て上手やりくりしたつもり
妙案が無くてやりくり四苦八苦
やりくりで残りご飯をオムライス
やりくりが上手な妻に感謝する
豊洲移転オリシピックが急かしてる
不審者と見分けが出来ぬ大寒波
伝説を集めて生かす町興し

木積 佐久間美智子
飯高 林 サダ子
八日市場ホ 大木波津恵
横須賀 鈴木 春子
堀川 勝又 康之
東小笹 江波戸京子
春海 八角 宗林
飯高 松野 敏昭

川口 城司 推薦

古希の坂負担の増える介護料

川 辺 及川 利道

力作 募集

あて先：匠瑛市秘書課広報広聴班

〒2809-2198

匠瑛市八日市場ハ793番地2

☎73・0080 FAX72・1114

※作品は選者により添削することがあります。